

1. 事業名	KYOの女性活躍ジャンプアッププロジェクト				
2. 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日				
3. 女性活躍推進法に基づく推進計画策定時期（策定予定時期）	令和8年3月 （策定済） ・策定予定）※どちらかにマルをつけてください。	計画期間（予定）	R8.4.1 ～ R18.3.31		
4. 地域の実情と課題⇒要件①「地域性」	○職場や地域などの分野で依然として女性の社会進出が進んでおらず、各分野で活躍する女性人材の育成が重要。あわせて、性別を問わず誰もが活躍できるような風土を構築する取組が必要。 ○企業における女性の登用が進んでいない状況 ・京都企業（府内従業員30名以上300人以下の企業）における職階別女性の割合は、係長相当職が21.4%、課長相当職が10.9%（いずれも令和6年度調査結果）と低い状況にあり、取組を進めているものの低い水準で推移している。令和7年度の上場企業における女性役員の比率は全国で14.0%と低く、企業の意思決定に携わることができる女性が依然として著しく少ないことから、女性の昇進意欲の醸成が必要。 ○男女が共に家事・育児・介護等の家庭生活上の責任を果たし、職場や地域において性別を問わず、誰もが活躍できるような社会をつくるためには、女性活躍推進と同時並行で、固定的な性別役割分担意識の解消、長時間労働の削減、ワーク・ライフ・バランスの推進などの取組を推進していくことが必要。 ○起業家に占める女性割合は全国平均で22.3%のところ、京都府では22.7%と全国をわずかに上回っているが、依然として低調であり、継続した起業支援を実施することが必要。 ○社会面・経済面など様々な問題を抱える女性が増加しており、支援が求められている。また、令和4年の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」成立により、厳しい状況にある女性を支援する仕組みづくりが必要。 ○ジェンダー平等の意識が高まる中、男性が家庭・地域社会で孤独・孤立に陥るリスクも増大していることから、男性のジェンダー問題に精通する男性相談員による相談窓口の継続した設置が必要。 ○京都府DV独自調査(R4年度)で男性府民1,000人にアンケートを実施したところ、男性府民の25.7%がDV被害を受けており、そのうち22.5%しか誰かに被害について打ち明けたり、相談したりしていない状況 ・自殺者数 男性〔R元：218名、R2：230名、R3:249名、R4:248名、R5:277名、R6:228名〕 ＜京都府＞ 女性〔R元：105名、R2：125名、R3:127名、R4:127名、R5:133名、R6:124名〕 （男性自殺者数は女性の倍の数値で推移している。） ○女性活躍推進法に基づく推進計画 市町村策定状況（令和6年度） 府内市町村 26市町村 策定済市町村 22市町村 策定率 84.6%				
5. 事業の趣旨・目的⇒要件①「地域性」	経済団体等と行政（京都府・京都市・京都労働局）の連携による「輝く女性応援京都会議」（女性活躍推進法に基づく協議会）を母体として、企業や地域における女性や女性起業家等、様々な分野で活躍・女性への支援を実施し実施することで、固定的な性別役割分担意識を解消し、誰もが希望通りの人生を送り、活躍することができる風土をつくる他、日常生活や社会生活の中で様々な困難な問題を抱える女性や、家庭・地域社会で孤独・孤立に陥る男性の問題を解消するよう、民間団体と連携した様々なアプローチで実施する等、京都府の女性活躍の推進、男女がそれぞれ抱える様々な問題の解消へ向けた総合的取組を各団体と連携し実施する。				
		目標・KPI		目標値(時点)	現状値(時点)
	①令和12年度まで(第6次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	企業の役職者の女性比率	(アウトカム)	係長相当職33% 課長相当職24% (令和12年度)	- (-)
	②令和12年度まで(第6次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI) (※KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)		()	()	
	③事業目標(全体)	企業の役職者の女性比率	(アウトカム)	係長相当職30% 課長相当職18% 部長相当職10% 役員15% (令和9年3月末)	- (-)
		主要な大学の理工系学部学生数の女性割合	(アウトカム)	25% (令和8年度)	- (-)
		防災女性相談サポーター登録者数	(アウトプット)	180名 (令和9年3月末)	- (-)
		自治会長に占める女性の割合	(アウトカム)	11% (令和8年度)	- (-)
		参加者のうち、起業した者の割合	(アウトカム)	60% (令和8年度)	- (-)
	起業スタート支援参加者のうち、起業した者の割合	(アウトカム)	60% (令和8年度)	- (-)	

6. 事業目標・重要業績評価指標(KPI)（全体） ⇒要件②「見える化」		女性からの相談件数	(アウトプット)	3,300件（令和9年3月末）	-（-）
		伴走支援件数	(アウトプット)	330件（令和9年3月末）	-（-）
		男性からのカウンセリング件数	(アウトプット)	144件（令和9年3月末）	-（-）
	④事業KPI(全体)	各研修・セミナー参加者数	(アウトプット)	900名（令和9年3月末）	
		各研修・セミナー参加者アンケートの満足度	(アウトカム)	80%（令和8年度）	
		起業スタート支援への参加者数	(アウトプット)	55名（令和8年度）	
		生理用品の配布から相談につながった人数	(アウトプット)	25名（令和9年3月末）	
		ワークショップ参加者数	(アウトプット)	70名（令和9年3月末）	
		人材育成講座修了者数	(アウトプット)	26名（令和9年3月末）	
	⑤市町村の取組状況に関する目標	男女共同参画計画を策定した市町村割合	(アウトカム)	100%（令和8年度）	-（-）
	⑥市町村の取組状況に関するKPI		()	()	
7. 事業内容 ⇒要件①「地域性」 ⇒要件④「政策連携」	固定的な性別役割分担意識の解消、出産や育児とキャリア形成との両立を可能とする仕組みづくりや、地域や企業などの様々な分野で活躍・挑戦する女性への支援の他、様々な困難・課題を抱える女性への支援や男性がの家庭・地域社会での孤独・孤立防止等、女性活躍を更に推進する人材育成やネットワークの構築、相談支援体制の強化を目的に以下の事業を実施する。 ①女性リーダー人材育成ネットワーク事業 ○企業の中核を担う女性役員や女性管理職等への人材育成研修、管理職や人事担当者向け意識改革を促す研修を実施するとともに、学生や保護者、教員を対象とした理系女性研究者・技術者等のロールモデルとの交流や職場見学会を実施することで、企業における女性のキャリア形成の支援及び女性活躍を推進する。 ○企業の枠を超えた、ロールモデルの紹介やキャリア形成に係る不安や悩みの解消や職場環境の改善に向けたワークショップ等の実施を通じて、女性の昇進意欲の醸成に向けたネットワークを構築する。 ○危機管理部局、市町村や地域で活躍する民間団体と連携した研修やワークショップを開催し、災害時における男女共同参画視点の重要性への理解を促進するとともに、防災・復興体制を地域に広げ、地域防災においてリーダーシップを発揮する女性人材の育成・ネットワーク構築を支援する。 ○地域活動に取り組む女性や地域活動を始めたい女性を対象に、団体運営やネットワークづくりのノウハウを学びながら、地域活動の実践及び活動の情報発信をすることを通じて、様々な分野で活躍する女性リーダーを育成する。また、取組を通して得た成果等について報告共有や既に地域で活動している団体との交流等を通じて、今後の活動を支えるためのネットワーク構築を支援する。 ②女性の起業支援・成長促進ネットワーク事業 優れた起業アイデアを持った女性の経済的自立、社会参画を促し、様々な分野で活躍する女性起業家を育成し、女性起業家同士が主体的に学び共に成長できる機会を提供するため、女性の起業支援、女性起業家の顕彰、交流会等の実施を始めとした女性起業家のコミュニティ形成の支援を実施する。 ③女性のためのつながりサポート相談支援事業 様々な困難・課題を抱える女性に対する支援を強化するため、民間団体と連携した無料電話相談やカウンセリング、SNS相談を引続き実施するほか、各相談・カウンセリングの一環として実際している生理用品の配布方法の見直しや、関係機関が有する専門分野の支援を適切に組み合わせた効果的な支援を検討する等、多様なアプローチで支援するとともに、各相談機関相互の連携を図り、ハードルの低いSNS相談から電話相談・カウンセリングの専門的な支援につなげるなど、相談者に寄り添った支援を行う。 ④女性のための寄り添い相談支援事業 上記③の事業の相談者の中で継続的な支援が必要な相談者に対する無料カウンセリングや無料ワークショップを行う。また、各相談機関相互の連携を図り、ハードルの低いSNS相談から電話相談・カウンセリングの専門的な支援を継続的に行うとともに、困難を抱える女性が継続して安心して話せる居場所を設けるため、参加者の回復段階に応じたワークショップを実施し、支援の強化を図る。 ⑤男性相談事業 ジェンダー平等の意識が高まる中、男性が家庭・地域社会で孤独・孤立に陥るリスクも継続して増大していることから、男性のジェンダー問題に精通する男性相談員による男性相談を実施するほか、男性相談員の人材育成や相談員間のネットワーク構築など、相談体制の拡充を図る。				
8. 事業の実施により期待される効果	①女性リーダー人材育成ネットワーク事業 ・府内企業や地域活動等の様々な分野で活躍する女性リーダーを育成、ネットワークを構築し成果を共有・普及・拡大していくことで、固定的な性別役割分担意識の解消や更なる女性活躍推進につながる。 ②女性の起業支援・成長促進ネットワーク事業 女性の経済的自立や社会参画を促進することで、女性起業家の裾野を広げる効果が期待されるとともに、ビジネスに女性起業家の新たな視点を取り入れることで、社会の仕組みや価値観の変革へつながる。 ③女性のためのつながりサポート相談支援事業 ④女性のための寄り添い相談支援事業 当事業による支援を通じて、様々な困難・課題を抱える女性を減らすことで、不安を持つことなく活躍する女性の増加や、誰もが安心して生活できる社会の構築を促す。 ⑤男性相談事業 当事業による支援を通じて、家庭・地域社会で孤独・孤立する男性を減らすことで、誰もが安心して生活できる社会の構築を促す。				

9. 事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	輝く女性応援京都会議において、構成団体間で事業実施結果について情報共有・意見交換を行うとともに、各事業において参加者や参加企業を対象にヒアリング及びアンケートを実施し、事業の効果と課題を把握する。女性相談等の内容を集計・分析することで、ニーズを把握し、今後の相談体制整備に生かす。							
10. 事業の実施体制 ⇒要件③「官民連携・地域連携」	連携体制の名称	輝く女性京都応援会議	女性活躍推進法に基づく協議会の設置状況					
			設置の有無	有	設置(公表)時期	平成27年9月	※連携体制が、法に基づく協議会の場合「○」を選択	○
	構成団体	京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、一般社団法人京都経営者協会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、京都府商工会女性部連合会、一般社団法人京都中小企業家同友会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾント京都クラブ、公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター						
	各構成団体の主な連携内容	輝く女性応援京都会議において各構成団体と交付金事業について情報共有し、構成団体会員企業等への周知・広報、事業実施に係る協議(内容の調整、研修講師の選定等)を行い、行政と経済団体等の連携によるオール京都の効果的な取組とする。						
	他の地方公共団体との連携	【京都市】 輝く女性応援京都会議の事務局である京都市と連携し、交付金事業の実施内容(研修講師の選定、実施時期、テーマ設定等)の調整を行う。						